

# 恋のキューピットシティ

パートナーと出会い、結婚できるその一連の過程を全て実現できるキューピットシティを目指す。

## 重点政策①概要

### レベルアップ政策

#### 【政策の目的】

出会いの場が少なくなっている中で場を提供することにより、自分に自信を持つ人を増やすこと。また恋愛に興味がない人にでも興味を持ってもらうこと。

#### 【事業内容】

- ①市による合コンの義務化  
一人一人に合ったマッチングができる合コンに年2回以上参加してもらうことを義務化とする。
- ②独り身に対する補助金制度  
合コンに年二回以上参加しても恋人ができない人に対して、自分磨き用の補助金を支給する。

#### 【費用】

- ・会場代 500万円
- ・人件費 700万円
- ・補助金の年間支給額 14億円

## 重点政策②概要

### にゃんにゃんデー

#### 【政策の目的】

人と出会う時間や恋人、夫婦で過ごす時間を当たり前にとる事が難しい社会人に向けて、企業側が時間を確保する。

#### 【事業内容】

夫婦2人の時間=夫婦休  
カップル、付き合ってる人達のための時間=デート休暇  
独り身、独身の人達の出会いの時間=合コン休暇  
1年間で6日間支給、パート、アルバイトの、場合は3日間支給する。

#### 【費用】

なし

チーム名  
エンジェルズ

ビジョン

# 恋のキューピットシティ

メンバー  
西河清矢 児玉峻太郎  
今野響喜 大槻裕

## 30年後の理想のまち

### 【ビジョンが示す理想の状態】

パートナーと出会い、結婚できるその一連の過程を全て実現できるキューピットシティを目指す。

### 【なぜ上の理想を実現したいのか？】

人々の恋愛や結婚に対する意欲の低下により結婚率の減少や晩婚化が進み、少子化に拍車をかけている。

→仙台市の生産、人口、全てが減少の一途を辿ることは目に見えている

→将来の仙台市の威厳に関わる問題を見過ごすわけにはいかない

→仙台市の再生には愛が必要なんだ！

## 現実のまち

### 【ビジョンと現状のギャップ】

- ・ 出会いの場に恵まれている⇔出会いの場がない時間がない
- ・ コミュニケーション能力等自身に満ち溢れている⇔自分に自信がない人が多く対人能力も個人差がある
- ・ 恋愛や結婚への意欲高い⇔恋愛や結婚への意識低い

### 【現状が維持された場合の社会の姿】

- ・ 少子化、晩婚化、人口減少
- ・ 結婚率の低下
- ・ 生産性の低下

# 重点政策①詳細

## 政策の概要

### 【政策の目的】

出会いの場が少なくなっている中で場を提供することにより、自分に自信を持つ人を増やすこと。また恋愛に興味がない人にも興味を持ってもらうということ。

### 【誰のための政策か】

20歳から30歳までの独り身の人々(学生は除く)

### 【政策を実施する主体】

仙台市

### 【政策を実施する期間】

10年後からずっと

## 政策名

### レベルアップ政策

## 政策の詳細

### 【事業内容】 \*政策を実行するための具体的方法

①市による合コンの義務化  
街コンをはじめとし、趣味や年齢など各カテゴリー別に分け、一人一人に合ったマッチングができるような合コンを設ける。そのような合コンを年に2回以上参加する事を義務化とする。

②独り身に対する補助金制度  
合コンに年2回以上参加しても恋人が出来ない人に対して、自分磨き用の補助金を支給する。年の最大支給額は2万円とし、5年間で10万円以内が補助金の最大支給額と定める。31歳になると義務化は解除する。また合コンの費用は一回5千円とする。

### 【政策にかかる費用】

会場代 500万円  
人件費 700万円  
補助金の年間支給総額 14億円

### 【政策による影響への対策】

自分磨き用の補助金を不正に使われないようにするために、領収書の提出を義務とする。

# 重点政策②詳細

## 政策名

にゃんにゃんデー政策

### 政策の概要

#### 【政策の目的】

人と出会う時間や恋人、夫婦で過ごす時間を当たり前にとる事が難しい社会人に向けて、企業側が時間を確保する。

#### 【誰のための政策か】

働いている未婚の男女  
自分の時間を大切にしたい人

#### 【政策を実施する主体】

企業、自治体

#### 【政策を実施する期間】

10年後からずっと

### 政策の詳細

#### 【事業内容】 \*政策を実行するための具体的方法

夫婦2人の時間=夫婦休  
カップル、付き合ってる人達のための時間=デート休暇  
独り身、独身の人達の出会いの時間=合コン休暇  
1年間で6日間支給、パート、アルバイトの、場合は3日間支給する。

#### 【政策にかかる費用】

なし

#### 【政策による影響への対策】

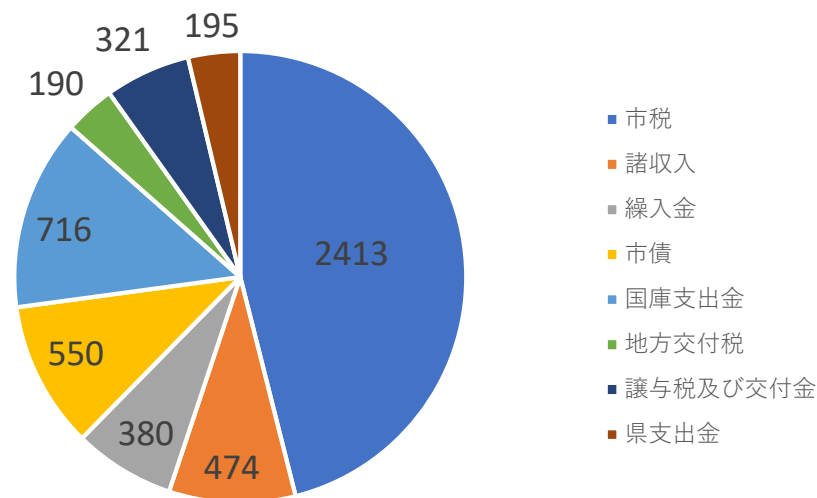
事業を行ってくれる企業への減税  
(固定資産税、法人住民税)

# 2029年の自治体予算

# 予算の算出の対策

## 歳入の部

歳入総額5239億円



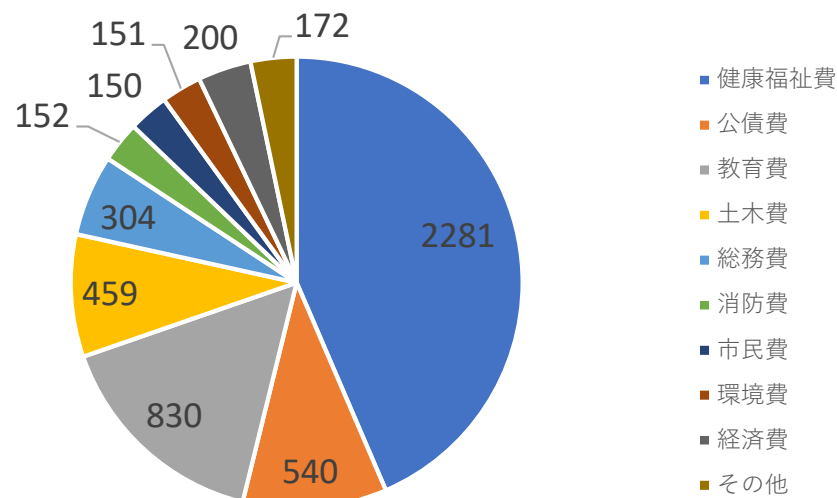
(単位：億円)

### 【重点政策予算の捻出方法】

10年後の仙台市の予算を考えると大きく考えられる変化として市税歳入が400億円の増加、社会福祉費の経費としての歳出が350億の増加。 $400 - 350 = 50$ により50億円余り、この50億円をその他歳出経費に加えそこから重点政策予算の捻出を行う

## 歳出の部

歳出総額5239億円



(単位：億円)

### 【現在の自治体予算からの変更点とその理由】

歳入部門について市税の収入が400億円ほど増加すると予想した。理由は宮城県に最新鋭の放射光施設であるSLIT-Jが建設されそれに伴う企業誘致、雇用増加が考えられ市税の収入増加が見込めると考えたからである。また歳出部門については健康福祉費が350億円ほど増加する予想した。理由は高齢化の影響を受け高齢者に対する医療、福祉、保健などの経費が増加すると考えたためである。

### 【予算面の変革に伴う対策】

一般会計の歳入・歳出に特に影響はない。